



明日を信じて

新潟市立潟東小学校 平成30年11月20日発行 第8号
「明日（あす）を信じて」は校歌のサブタイトルです

ネットいじめから子どもを守る

校長 篠宮 敏明

日本全国の学校で、いじめは複雑に、巧妙に、保護者や教師等大人にわからないように広がっています。いじめていた子がいじめられたり、その逆であったりすることもよくあることのようにです。そして、「チクった」ことでのエスカレートや仲間からの排除を恐れ、いじめられていることを訴えられない子もいます。さらに、インターネットを通じて行われるいじめは、本人ですらいじめられていることを認識できない場合もあるそうです。

スマートフォンやタブレット端末を使って、いつでもどこでも用件や情報、思い・考えを、写真や動画を添えて交流することができる時代です。そして、子どもたちの多くが使っている携帯ゲーム機や携帯音楽プレイヤーでもそれが可能です。それ自体は機動性もありとても便利なツールですが、使い方を誤った場合のいじめ・犯罪等の危険性は様々な報道でご承知のとおりです。

市内小・中学校でも、メール・SNS・掲示板等への書き込み、なりすましや動画サイトへの情報の撒き散らし等の問題が発生しています。「だれかの悪口や相手が聞いたらいやなこと、傷付くことを書き込まない」「自分やだれかの個人情報（名前、住所、電話番号、写真・動画等）を送らない」等、通信ゲーム機等の使い方についてお子さんと具体的な約束をかわし、定期的に確認をしてください。

また、通信型ゲーム機等は無防備にせず、フィルタリング（通信事業者による有害サイト等への接続制限）、ペアレンタルコントロール機能（保護者が設定できる通信やネット接続等の制限）の利用をお願いいたします。この二つは、子どもたちを危険から守るために有効です。

潟東小学校では毎年、4年生を対象に「情報モラル教室」を行っています。今年度は9月に市教育委員会の指導主事からおいでいただき、「か・た・ひ・が・し」を頭字にした「情報モラルルール」を作っていただきました。紹介します。

「か」 確認する(個人情報のはのせない)	「た」 他人の悪口やうそは書き込まない
「ひ」 (ネットの中で知り合った)人には会わない	
「が」 がまんする力(〇時まで、〇時間以内)	「し」 しっかり学校や家庭のルールを守る

潟東小学校では、ネットいじめに関係する情報を含め、子どもたちの声に耳を傾け、きめ細かく観察しています。兆候や訴えはすべて報告・相談し合い、組織でいじめ問題の解決を目指しています。そして、「いじめは、どの学級でも、どの学校でも、どの子にも起こり得る」という認識のもと、「認知する力」をさらに高めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、「認知する力」を鋭敏にしてください、もし子どもたちの様子に「違和感」を感じられましたら、すぐに学校にご相談ください。ご理解、ご協力をお願いいたします。